

1. Team STEPPSとは？

パフォーマンスや患者安全を高めるためにチームで取り組む戦略と方法

患者安全推進のため、「事故は起こるもの」という前提のもと多くのシステム対策がとられている。しかし、それだけでは不十分であり、事故原因の大部分に関係しているコミュニケーションエラーを少なくするため、組織のチームワークを向上して確実なチーム医療を行う必要がある。つまり、患者を中心に多くの職種がお互いを尊敬し、ベストパフォーマンスを行うことで医療安全文化の醸成を目指していくことが望まれる。

TeamSTEPPS (Team Strategies and Tools to Enhance Performance and Patient Safety) は、良好なチームワークを確立し、医療チームの成果と患者安全を高めるために、リーダーシップ、状況モニタリング、相互支援、コミュニケーションの4つのコア・スキルに関してチームで取り組むべき戦略・手法を示した行動規約である。

当院においても、*TeamSTEPPS*を理解・実践し、良好なチームワークの形成を意識しながら、病院職員が一丸となり医療安全文化の醸成を目指すこととする。

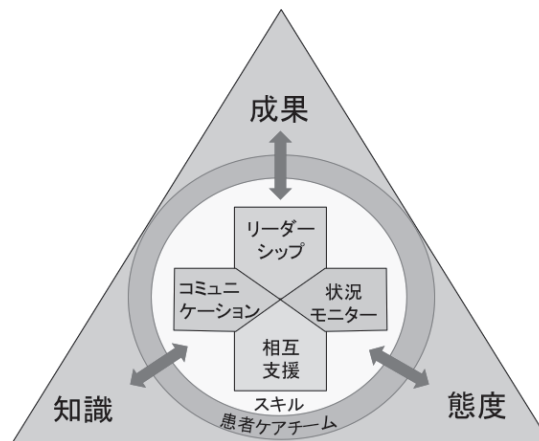
知識・考え方

- メンタルモデルの共有態度
- 相互の信頼性
- チームの方向性

パフォーマンス

- 適応性
- 正確性
- 生産性
- 効率性
- 安全性

4つのコア・スキルとその成果





チーム構成とコア・スキル

*TeamSTEPPS*は、様々な職種で構成される患者ケアチームが、以下の4つのコア・スキルを体得・実践することで、メンタルモデルの共有をはかり、チームとしてのより安全で有益な知識・考え方、態度、成果が得られるエビデンスに基づいた戦略である。

メンタルモデルの共有 (Shared Mental Model)

コミュニケーションを通して、状況、過程、目的に関する認識、理解、知識などがチームメンバー間で共有されている事

チーム構成 (Team Structure)

患者を含めた医療チームの構成、メンバー、リーダー、チーム構成、人選、配置などのチーム運営の基盤に関する知識

リーダーシップ (Leadership)

チーム活動を理解し、変化する情報をチームメンバーと共有し、必要な人的・物的資源を確実に供給することによりチームメンバーの活動を調整する能力

状況モニタリング (Situation Monitoring)

チームで協働するために、周囲や自己の状況を積極的に解析・評価し、かつ、その解析活動を継続する行為

相互支援 (Mutual Support)

責任感や労働負荷などを正確に把握することで、他のチームメンバーの要求や状況を把握し、労働や知識を支援する能力

コミュニケーション (Communication)

様々な形式で行われるチームメンバー間の情報伝達を、誤りなく順序立てて、確実に行うプロセス

患者とのパートナーシップ

患者をチームの一員と考え、チームとして医療の質と安全性を高める



リーダーシップ

チームを活性化するチームリーダーとは

- ・的確なチームを形成し、明確なゴールを提示する
- ・チームメンバーから情報を集めて意志決定を行う
- ・チームメンバーが自由に発現、提案できる環境を作る
- ・良好なチームワークを形成し促進する
- ・優れた論争解決能力を持つ
- ・適切なチーム活動（ブリーフ、ハドル、デブリーフ）を行う

ブリーフ（Brief）項目

活動開始前に行われる確認のための定時の打ち合わせ

- 誰がチームに所属しているか
- 全てのチームメンバーが目的を理解し同意しているか
- 各自の役割と責任は自覚しているか
- 治療計画はどのようなものか
- 人員配置は充分か
- チームメンバーの業務負荷はないか
- 物的資源は充分か

ハドル（Huddle）

活動中に行われる状況認識再確認のための臨時打ち合わせ

デブリーフ（Debrief）項目

活動終了時に行われる、活動を振り返り今後のチーム活動を高めるための仕上げを目的とした定時の打ち合わせ

- コミュニケーションは明確だったか
- 役割と責任は理解されていたか
- 状況把握は継続されていたか
- 業務量配分は適切だったか
- 業務援助の要求・供給は行われたか
- エラーが発生したか回避されたか、資源活用は充分だったか
- 何がうまくいき、何がうまくいかず、次は何を改善するべきか

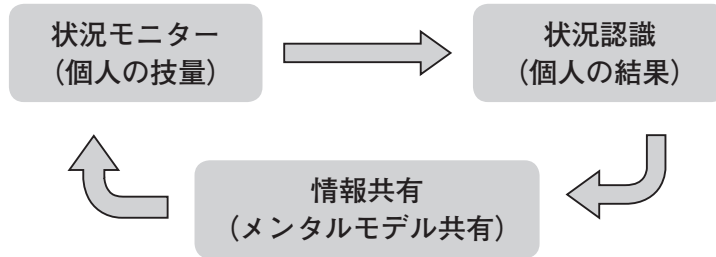
患者とのパートナーシップ

- ・医療安全のパートナーになるよう患者に理解を求める
- ・患者が気づきを発信しやすい環境を形成する



状況モニタリング

状況モニタリングの過程



個人としての一時的モニターではなく、身の回りの出来事を継続的に把握・解析し、周囲のメンバーと情報を共有すること。

クロスモニタリング

他チームメンバーの行動を観察し、必要に応じて積極的に助言・指摘することでチーム内にセーフティネットを構築する。

STEP (状況モニタリングの要点)

Status 患者の状況	Team Member メンバー状況	Environment 環境の状況	Progress 進捗状況
既往歴	疲労	施設情報	患者状況
バイタルサイン	労働負荷	管理情報	目的達成度
服薬状況	業務遂行度	人的資源	援助必要性
精神身体所見	技量程度	対応鋭敏性	計画適切性
治療方針	ストレス状態	物的資源	

I'M SAFE チェックリスト (自己管理リスト)

I	Illness	病気・体調
M	Medication	体調に影響する薬の服薬
S	Stress	大きなストレス
A	Alcohol and Drugs	飲酒・薬物の影響
F	Fatigue	過度の疲労感
E	Eating and Elimination	食事・排泄上の問題

患者とのパートナーシップ

患者が発信した情報を医療チームで共有し、行動に結びつける



相互支援

メンバーの不適切な知識や行動を是正するとともに過重労働を予防し結果としてミスの発生を抑制する

職務援助 (Task Assistance)

- ・ ミスの発生を予防するため、求められていると感じた場合には積極的に職務援助を行う
- ・ 他のチームメンバーを過重労働状況から守りミスを予防
- ・ 患者安全を第一と考えチーム全員で対応する
- ・ 誰がではなく患者のためなら誰でもと考える

フィードバック (Feedback)

- ・ メンバー間で行為に関する情報を検証し互いを高め合う方法
- ・ タイムリー：対象行動のすぐ後に行う
- ・ 特定する：行動を特定し要点をまとめる
- ・ 明確な改善点：改善するための目標・項目を具体的に提示
- ・ 敬意・思いやり：個人攻撃ではなく行動方法に焦点をあてる

2- チャレンジルール (Two-Challenge Rule)

- ・ 重要な安全義務違反を感じたり発見した場合に行う方法
- ・ とりあえず活動を中断させるため最低2回はアピールする
- ・ 改めて重要な情報を提供することで緊急性の認識を促す
- ・ 発信者の責任として行い相手は必ず対応しなくてはならない
- ・ 満足できない場合は強い行動を起こすか指導者に相談する

CUS

- ・ 適切な時だけ行う緊急避難処置、「とにかく一旦中止して、考えて下さい」という強い意思表示
- ・ Concern (心配だ)、Uncomfortable (困惑している)、Safety Issue (安全上の問題だ) という意思表示を明確に行うこと

DESC スクリプト

争論を解決あるいは調整するための建設的アプローチ

Describe：具体的データを提供し問題のある状況や行動を説明

Express：その状況に対する自分の懸念を説明する

Suggest：代案を提示・説明し同意を求める

Consequences：チームで決めた目標を基に結論・助言を述べる

患者とのパートナーシップ

状況に合わせ、適切な情報を与え、患者にチェック機構として積極的に支援してもらう



コミュニケーション

SBAR

緊急の注意喚起や対応が必要な状況においては、情報の効果的な伝達のため、以下の項目にそって伝達する

- ① **Situation** (状況) : 患者に何が起きているか
- ② **Background** (背景) : 臨床的背景はなにか
- ③ **Assessment** (評価) : この問題に対する自分の考えはなにか
- ④ **Recommendation** (提案・依頼) : 自分の提案・依頼はなにか

コールアウト (Call-out)

- ・ 重大あるいは危機的情報を共有する時に用る手段
- ・ 明確に情報・疑問を投げかけることで相手の対応を促す方法
- ・ チームメンバーが次に行うべき事を予想するのに役立つ方法
- ・ 行為を遂行する責任のある個人に責務を果たすよう指示する

チェックバック (Check-back)

- ・ 送り手からの明確な情報発信
- ・ 受け手による情報受領と明確な確認の返答
- ・ 送り手による最終的な情報伝達再確認
- ・ 復唱・声だし確認の徹底
- ・ 認識した情報を正確に伝えメンタルモデルの共有につなげる

ハンドオフ (Handoff)

- ・ ケアの引き継ぎ時における情報伝達の向上方法
- ・ 質問や確認を行い、不明な点を明確にする機会
- ・ 正確に受け渡す責任と義務の存在を自覚する
- ・ 不確実性を理解し、チェックリストの活用 (I PASS the BATON)

申し送りチェックリスト (I PASS the BATON)

- 自己紹介 患者氏名、年齢、性別、所属
- 主訴、バイタルサイン、問題徴候、診断
- 現在の状況、変化、治療後の反応
- 危険な検査結果の有無、危険信号
- 患者背景、既往歴、服薬状況、家族歴
- これまでの対応と今後の必要性
- 緊急性 対応責任者 予想される次の変化

2. TeamSTEPPS 研修の開催

TeamSTEPPS エssenシャルコース・アドバンストコースの開催



3. 患者さんとのパートナーシップ

安全性を高めるために患者さんも医療チームの一員として安全推進活動に参加をしてください。



【リーフレット記載内容】

- 氏名確認にご協力ください
- お薬の申告と持参のお願い
- アレルギー予防にご協力ください
- 転倒・転落予防にご協力下さい
- 褥瘡(床ずれ) 予防にご協力ください
- 深部静脈血栓予防にご協力ください
- 感染対策にご協力ください
- 1) 手洗い
- 2) 咳エチケット
- 3) ご面会について
- 4) 感染症発生時の対応について

4. ハイリスク症例カンファレンス

5. 迅速対応システム (ラピッド・レスポンス・システム : RRS)